

## 大学

健康医療科学部 健康栄養学科

### 早期体験学習

榎裕美教授、加藤友紀教授、  
韓順子教授、前田恵子教授

病院や学校給食の現場を1年次に見学。  
管理栄養士の使命を体感し、向学心を高める。

将来、管理栄養士としてどう働きたいか。そのために何を学び、何を身につけるか。そうした学生の志向性を高めるのが、1年次後期の必修科目「早期体験学習」です。学生は管理栄養士が活躍する現場を見学し、実際の職務を体感しながら、2年次以降の専門科目につながる貴重な学びを得ています。約4か月間の事前指導では、学生主体の個別調査やグループディスカッションも行う、病院・学校の給食経営管理やチーム医療などを学修。考察を深めた上で、愛知淑徳大学クリニック、名古屋大学医学部附属病院、長久手給食センターの3施設を全学生が訪れます。各施設の見学、管理栄養士や医師の講義などを通して、治療に貢献する栄養管理、栄養教育、衛生管理、アレルギー対応などを理解する学生たち。めざす管理栄養士像を明確にし、向学心を燃やして、幅広い専門知識や力を修得していきます。



## 愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

## 高等学校

愛知淑徳高等学校

### 数学

伊藤千賀教諭

どんな道筋で、答えを導くのか。  
クラス全員で学び合い、思考力を磨く。

数学は、物事の本質を捉える論理的思考力を磨く科目です。正解は一つでも、解き方は一つとは限りません。そのルートを生徒一人ひとりが考え、クラス全体で学び合うことを、伊藤先生は大切にしています。伊藤先生の授業は、生徒が登壇し、自分で考えた解法を説明する「プレゼン形式」が中心です。生徒たちは解法や解答だけではなく、問題文のどこに着目し、どうやって解法を組み立てたかという着想もしっかりと解説。クラスメイトの発表を聞き、自分では気づかなかった解き方を知ることが、数学の問題に対する多角的な視点や柔軟な応用力につながります。「私は高校時代、数学が得意ではありませんでした。だからこそ、数学が苦手な生徒も意欲的に参加できる授業づくりを心がけ、みんなで活発に学べる場を提供したい」と語る伊藤先生。生徒と向き合い、それぞれの力を引き出しています。

